

7/25(土)・7/26(日) 内覧会



内覧会(予定)

令和8年7月25日(土曜日)午後 2時~4時
令和8年7月26日(日曜日)午前 10時~12時
予約制ではありませんのでご都合の良い時間にお越しください。



人生会議 (ACP)

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) とは、自分らしい尊厳のある人生の幕引きを迎えるために、将来の医療及びケアについて、利用者様を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、利用者様の意思決定を支援する過程のことをACPといっています。

介護医療院あさひヶ丘では、入所時に「私の意思表示ノート」を活用し、ACPについての説明を行っています。

利用者様には入所後の体調や病状の変化に応じて、書き換えながらご利用いただき、利用者様・ご家族様の意思を確認しています。すでに入所されている利用者様に対しても、毎月2名程度ACP会議を実施しています。施設での穏やかな看取りのために、職員一同、今後も働きかけを継続してまいります。



(介護医療院あさひヶ丘)

各科別 診療時間・受付時間

| | | | | | |
|------|--------------|-------------|---------|--------------|-------------|
| 診療時間 | 午前9:00~12:00 | 午後2:00~5:00 | 受付時間 | 午前8:00~11:30 | 午後1:30~4:30 |
| *耳鼻科 | 午前9:30~12:00 | 午後2:00~4:30 | 耳鼻科受付時間 | 午前8:00~11:30 | 午後1:30~4:00 |
| *小児科 | 午前9:00~12:00 | 午後2:00~5:30 | 小児科受付時間 | 午前8:00~11:30 | 午後1:30~5:00 |

土曜日午後及び日曜日・祝日は休診

公式Instagram



医療法人 積仁会 救急指定・労災指定

旭ヶ丘病院

ASAHIGAOKA HOSPITAL

〒350-1211
埼玉県日高市大字森戸新田99-1
TEL 0570-08-1121
URL <https://sekijinkai.or.jp/>

公式ホームページ



あさひヶ丘

医療法人 積仁会 広報誌



令和8年8月 新棟(北館)が開設します

旭ヶ丘病院

28床 地域包括ケア病棟
29床 回復期リハビリテーション病棟
57床増床します
これからも地域の皆さまに寄り添う医療を提供いたします

介護医療院あさひヶ丘

100床 新築移転します
30人定員 デイケアが1階に新規オープンします
ご自宅から送迎付きで安心して通えます
病院と連携し、リハビリと入浴など1日を快適に過ごせる環境を整えてお待ちしております。

電話番号変更のお知らせ



2026年4月1日より旭ヶ丘病院と介護医療院あさひヶ丘の電話番号が変更となりました。新しい電話番号は
旭ヶ丘病院：0570-08-1121
介護医療院あさひヶ丘：0570-04-6587
次のとおりです。

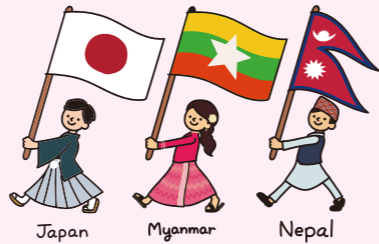




さほうくん、こころちゃんからの 看護部紹介 第19回

2025年度に看護部が成長したと感じた内容を紹介します。7月に慢性パッケージの特定行為研修を修了した看護師が1名います。主に気管カニューレや胃ろうチューブの交換と褥瘡の血流ない壊死組織除去の業務で貢献できるようになりました。医師の業務負担軽減だけでなく、看護の質向上にもつながっています。外来では、化学療法のベッドを2つから4つに増やしました。医師からの要望に合わせ、環境整備と化学療法を担当する看護師の研修参加を含め対応できる外来に成長しました。療養病棟では、褥瘡ケアの見直しから褥瘡治癒率がアップしました。また、経管栄養から経口摂取へ移行できた患者さんが増えました。多職種と連携し、医療や看護の質向上に取り組んでいる自慢の療養病棟です。

4月には看護部で訪問介護を立ち上げました。身体介護・生活介護・障がい者支援の3つの役割ができるようになりました。また、一部の訪問介護業務を法人内の病院や介護医療院で勤務する介護福祉士に担当してもらっています。退院や退所した方の自宅に訪問するため利用者さんにも知っている職員が訪問することで安心感があると好評です。職員にとっても、退院・退所後の様子がわかることでやりがいにつながり、介護職の質が向上した様子うかがえました。今後も地域に貢献するために、患者さん・利用者さん・地域施設の要望を確認しながら、ケアミックス病院看護部の役割を実践していきます。2026年度は、初めての外国人介護職の採用と8月の増床に向けて看護師の新卒を10名採用します。看護の質においては、ポケットエコーの導入を計画しています。益々教育に力をいれる年になるでしょう。



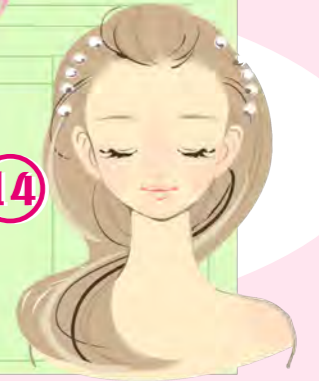
(看護部長 川野 奈緒美)



心が軽くなる処方箋

旭ヶ丘病院 内科医
小室 朋子 医師

14



～春風に乗って、新しい一歩を～

春の訪れは、いつも心を優しく揺さぶります。冬の厳しさを耐え抜いた大地から、柔らかな新芽が顔を出し、桜のつぼみがほころび始めます。空気は清々しく、陽光は温かく、私たちに「新しい始まり」を囁きかけてくるようです。広報誌が春号として届く頃、多くの人が新生活を迎えたり、環境が変わったりする時期でもありますね。そんな春にこそ、前に進むための勇気をお届けしたいと思います。

桜の花は、日本人の心に深く根ざした象徴です。満開の美しさは息をのむほどですが、散る姿もまた、儂くでも潔いですよね。花びらが風に舞い、地面を優しく覆う様子を見ていると、「すべては移ろいゆくもの」と教えてくれます。咲いていたものが散ること、木々はそれを怖がるのでしょうか？自然は、怖がることもなく、悩むこともなくただ、自然の経過にまかせていつもそのままです。散るからこそ、次の芽吹きがあります。そして新しい季節が巡ってくるのです。

私たちの人生も同じではないでしょうか。古いものを手放すことで、新しい可能性が開かれるのです。古い固定観念にとらわれたまま、古い経験や体験にしがみついたまま、重たい荷物を背負ったまま新しいことに挑戦することはとても大変なのです。



新しい心のスペースを作り湧いてくるエネルギーを得ること、部屋や身の回りの片付けをして物質的な整理整頓をして余白を作ることがまず、とても大事になります。新しいことに挑戦するのは、誰も不安を感じるものです。失敗したらどうしよう、周りにどう思われるか、うまくいかなかったら後悔するのではない

か……。そんな声が頭の中で響くのも、自然な心の動きです。心理学的に見ても、人間の脳は「現状維持」を好む傾向があります。変化はリスクを伴うからこそ、慎重になる。でも、だからといって一歩を踏み出さないまましていると、心のどこかで「もっと何かできたはず」という小さな後悔が積もっていきます。

春は、そんな私たちに後押しをしてくれます。自然界が一斉に活動を再開するように、私たちも新しい習慣を始めたり、興味があったことに挑戦したりするのにぴったりの季節だと思いませんか。小さなことでもいいのです。一歩踏み出すと、意外と世界が広がることに気づきます。新しい出会いが生まれ、視野が広がり、自分自身が少しずつ成長していく実感を得られるはず。大切なのは、完璧を求めすぎないことです。全力で走り出そうとすると、途中で息切れしてしまうかもしれません。マラソンのように、ペースを保ちながら、時には休憩を挟みながら進むのがコツです。不安が湧いたら、それを「課題」として明確にしてみてください。「何が怖いのか」を言葉にすると、意外と対処可能になるものです。そして、失敗したとしても、それは「挑戦の種」。次に活かせる経験になります。挑戦しない後悔より、やってみたという経験の方が、心を豊かにしてくれます。この春、桜の下で深呼吸してみませんか。春風に乗って、心に溜まった冬の重みを吹き飛ばし、新しい一歩を踏み出しましょう。どんな状況であったとしても、誰にでもいつも芽吹く力があると思っています。桜のように、美しく咲き、潔く散る人生を。新しい始まりが、素晴らしい実りを生みますように。



あさひヶ丘に、笑顔あふれる「通所リハビリ」が誕生します！

介護医療院あさひヶ丘が新棟へのお引越しを8/1に行われると同時に、通所リハビリテーションが新規に開設されます。

通所リハビリでは「日々楽しく、笑顔あふれるデイケアへ」をキャッチフレーズに、日高市中心の地域にお住まいの方々に対して生活支援や入浴支援、リハビリテーション、社会的交流の促進を目的に開設準備を進めています。

これまでの旭ヶ丘病院の通所リハビリを併合し、今まで実施していなかった送迎体制を整えて、より多くの利用者様にご利用して頂きたいと考えております。

利用時間につきましては、ご利用者のライフスタイルにあわせて、生活支援や入浴支援、リハビリを目的とした1日型のご利用と、リハビリを主とした午前と午後の半日型のご利用時間帯を設けました。これにより、今まで以上に利用時間においてはご自身で選択しやすく、ご利用しやすい体制を整えてまいります。

現在は準備真っ只中ですが、4月以降、順次お問い合わせ可能となります。通所リハビリテーションにつきまして、ご興味やご希望がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。



介護医療院あさひヶ丘
0570-04-6587(ナビダイヤル)